

第40回日本カトリック正義と平和全国集会

2018

名古屋大会

共に生きる

今問われる私たちの選び、私の決意

地球家族

11/23 金(祝)・24土

主催

カトリック名古屋司教区

共催

日本カトリック正義と平和協議会

分科会参加協力

イエズス会社会司牧センター移民デスク

HIV/AIDSデスク

カリタスジャパン

子どもと女性の権利擁護のためのデスク

日本カトリック難民移住移動者委員会

日本カトリック部落差別人権委員会

ほか

oyama

fukuin

shikawa

ifu

ichi

教会は
A GIFT

神さまからの贈り物

第40回「正義と平和」全国集会名古屋大会実行委員会事務局

〒461-0004 名古屋市東区葵2丁目6-29 福信館内

Tel: 052-935-7180 Fax: 052-935-7195 Mail: s.fukuin@nagoya.catholic.jp

「正義と平和」全国集会 名古屋大会 ごあいさつ

第40回「正義と平和」全国集会名古屋大会実行委員長

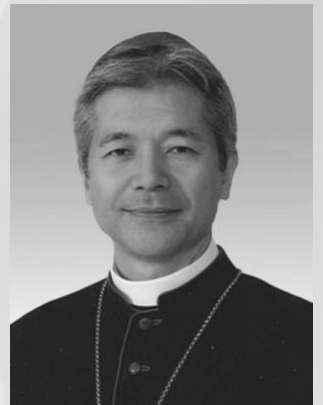
名古屋教区司教 ミカエル 松浦 悟郎

この度、第40回という記念すべき正義と平和協議会の全国集会を名古屋教区で開催できることを心から嬉しく感謝します。名古屋教区は5県からなっており、地理的には本州の中心に位置し、最近、観光客が激増している北陸を含み、また、東海地区では外国からの移住者が多い教区です。その5県とは、愛知(A)、岐阜(G)、石川(I)、福井(F)、富山(T)で、合わせて“AGIFT”ですので、大会に参加される皆さんを心から歓迎するとともに、神さまからの贈り物(気づきと歩む力)が与えられよう、心からお祈りします。

なお、今回の大会は、今後どの教区でもできるように、期間を1泊2日と短くし、申し込み手続きや参加費を最低限にするなど、準備をできるだけ簡素化しました。これは、同時にできるだけ多くの人に参加しやすくするためでもあります。その分、不自由がありましたらお赦し下さい。

世界も日本も、それを支えている地球環境も、まさに時代の分かれ道に差しかかっています。神の国の視点から、私たちがそれぞれの属している場で何を選びとっていくかが問われています。今大会では少しでもそこに光をあて、私たち一人ひとりの決意につながればと願っています。

感謝のうちに。



日本カトリック正義と平和協議会 会長

札幌教区司教 ベルナルド 勝谷 太治

私たちを取り巻く今日の国内外の情勢を見ると、正義と平和に関する問題は多岐にわたり、そして激動しています。そんな中で私たちも柔軟に対応を変化させる必要に迫られています。今回も多くの分科会が設定されていますが、その多様さがまさにそのことを物語っています。しかし、私たちが取り組むべき事柄はこれだけではないことはいまでも無いことです。

私たちは「平和を実現する人は幸いである」(マタイ5章9節)という主の呼びかけに答えて、私たちの小さな力を捧げるためにここに集まっています。とはいえ、私たちの1人ひとりの力は限られ、かかわるべき事柄は上述のごとく数多あります。当然1人の人間がすべての問題にかかわることはできません。それゆえに私たちは連帯するためにここに集まっています。「体は一つでも、多くの部分から成り、体のすべての部分は多くても、体は一つであるように、キリストの場合も同様である」(Iコリント12章12節)と述べられているように、私たち1人ひとりとはそれぞれ別々の活動に携わっていても、それらはキリストにおいて有機的に結び合わされ、1つの体とされ一つの教会の活動、すなわちキリストご自身の使命を引き継いだ、キリストの活動を継続しているのです。

この集まりを通して皆さんが主の呼びかけと導きの声を注意深く聞き取り、行くべき道を選択することができますように。皆さんの活動の上に、勇気と励ましが与えられ、困難にあっても歩み続ける力が与えられますように。この集まり全体を主が導いてくださり、聖霊を通して神の豊かな祝福が与えられますように。



基 調 講 演



テーマ：『世界のゆがんだ経済格差、その現実と原因』

講師 ^{はのち}羽後 ^{せいこ}静子 教授

今日のグローバル化の表層を見るだけでは、世界の経済格差、貧富の格差、経済のゆがみの真の理解には至らない。およそ 500 年前、ヨーロッパ諸国が、ときにキリスト教宣教を利用して、世界各地を植民地化した時点にまでさかのぼって、北の先進国による南の発展途上国収奪の歴史を振り返ることも必要である。20 世紀、資本主義と民主主義は車の両輪であったが、21 世紀のグローバルな金融資本主義は、もはや民主主義に敬意を払うことなく暴走し、北の先進国内部にも「南」を作り出している。つまり国内においては、これまでの中間層は貧困層に転落し、女性や若者、高齢者、移住者など新たな貧困層を再生産し続けているのである。このような経済格差のゆがみこそが、グローバリゼーションの特徴であることを、できるだけ簡潔にわかりやすくお伝えします。

羽後 静子教授 プロフィール

中部大学大学院国際人間学研究科、国際関係学部、中部大学 CAAC（シニア大学）教授。

カナダのヨーク大学大学院国際政治学 PhD コース終了。ヨーク大学国際安全保障研究センターで人間の安全保障や地球環境、生物の多様性を研究、2004 年から中部大学国際関係学部へ着任。中部 ESD 拠点協議会運営委員。国連 SDGs（持続可能な開発目標）や中部地域の ESD（持続可能な地域社会構築に向けた教育）としてまちづくりなどの実践活動に関わっている。

またフィリピンなど東南アジアから日本へ出嫁ぎにきた女性たちの人権問題（偽装結婚、人身売買）や貧困問題を通じて、世界の経済格差、南北問題を研究と NGO で活動している。2017 年度ノーベル平和賞を受賞した ICAN の加盟団体の 1 つであるピースボートの水先案内人として地球大学や被爆体験を伝える折り鶴プロジェクトに参加活動。

シ ン ポ ジ ウ ム

テーマ：『世界のゆがんだ経済格差、その現実と原因』

司会進行: 松浦 悟郎 司教

シンポジウムでは、さまざまな分裂や争いに苦しむ現代世界に派遣されている教会の使命について考えていきます。特にシンポジストのお2人には、国際修道会の総長として世界をつぶさに見聞きしてきた経験を通して、教会はこの現実に対してどう向き合い関わってきたかについて話していただき、後半には羽後さんを交えた討論によってこれからの教会の課題と役割について深めていきます。



ヨゼフ・アベイヤ 司教

大阪大司教区 補佐司教

1975 年司祭叙階。

1991 年クラレチアン宣教会の総長顧問会メンバー、宣教会の福音宣教推進の責任者を歴任。

2003 年クラレチアン宣教会総長。

2015 年総長職任期を終え帰国。大阪教区で司牧。

2018 年(今年)6 月に大阪大司教区補佐司教に任命され、7 月司教叙階。

弘田 鎮枝 修道女

ベリス・メルセス宣教修道女会

正義と平和協議会国際関係担当。

国際パックス・クリスティ非暴力作業部メンバー

女たちの戦争と平和資料館理事

アプラ（Alternative People's Linkage in Asia）顧問



第 40 回 日本カトリック正義と平和全国集会

分科会名：「移住者と日本社会やカトリック教会」



この分科会の主な狙いは ”なぜ教会は「移民」に関わるのか”を問いかけ、移民問題に関心を深め、可能な行動を打ち出すことです。

まず、日本に暮らす外国籍の「移住者」についての一般の情報をお互いに分かち合う。特に、外国籍労働者・実習生を中心にみんなでその実情に関する情報を交換する。

次に移民問題に関する日本カトリックのかかわり方を評価し、残されている大切な課題を検討して、可能な行動計画を立ててみる。

そして、ベトナム人の実習生の実情を事例として、彼ら/彼女らの日本での生活状況を紹介し、山村淳平先生が、最近、日本とベトナムで制作したビデオを見て、自由に討議を行う。

分科会形式：シンポジウム

パネリスト：山村淳平先生、Sr. Maria Le Thi Lang、安藤勇神父

主 催：イエズス会社会司牧センター移民デスク

日 時：2018 年 11 月 24 日(土) 午前 10 時～12 時 午後 2 時～4 時

場 所：みこころセンター

連 絡 先：イエズス会社会司牧センターの移民デスク

E-mail : migrantdesk.jsctokyo@gmail.com

☎ 03-5215-1844 Fax: 03-5215-1845

参 加 費：無 料（多様な経費のため寄付歓迎）



みこころセンター

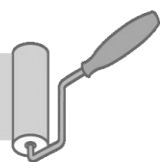
〒460-0002

愛知県名古屋市中区丸の内 3-6-43

地下鉄

名城線「市役所」 3 番出口下車 徒歩 5 分

桜通線「久屋大通」 2 番出口下車 徒歩 6 分



日本カトリック正義と平和協議会 平和のための脱核部会主催

(第40回日本カトリック正義と平和全国集会 2018年名古屋大会分科会)

映画「わすれない ふくしま」上映会連携企画 トークと分かち合い 低線量被曝と福島からの声

福島原発事故から7年が過ぎ、政府は風評の払拭と帰還復興政策を進めています。被災地の方々はどんな思いでこの7年を過ごし、放射能汚染、住民の心と体の健康は、今、どうなっているのでしょうか。7年後のいま。わたしたちはこれから何をすべきなのでしょう。ともに耳を澄ませ、語り合い、考えましょう。

勝冶美喜子さん

(原町教会信徒 いのちの光3.15 フクシマ実行委員) 退職後、福島県南相馬市で農家レストランを始めたが、原発事故で家と農地を失い、今は市内小学校で学習支援員を行っている。

北川恵以子さん (小児科医 精神科医)

札幌在住。2011年東日本大震災後、被災地に定期的に通り、心のケア、特に、原発事故による放射線の影響への不安についてのカウンセリングを行ってきた。

日時 11月24日(土) 10:00 ~16:00
(開場 9:30)

お弁当をご持参ください

会場 名古屋教区 南山教会マリア館
名古屋市昭和区南山町1
地下鉄舞鶴線 いりなか駅
市バス「いりなか」停留所 下車5分

申し込み不要



主催 日本カトリック正義と平和協議会 平和のための脱核部会

お申し込み・お問い合わせ 日本カトリック正義と平和協議会

担当：昼間 03-5632-4444 hiruma@cbcj.catholic.jp

「東アジアの和解と平和」分科会

東アジアの情勢が急展開していく中で、日本では国家主義的な風潮が高まっています。私たちは過去の歴史に向き合い、韓国、中国、近隣の国々の信仰者たちと対話をしながら、東アジアに平和と和解を構築していくネットワーク（神が漁る網）を広げていきたいと思っています。

今回の分科会は、同志社大学グローバル・スタディーズ研究科教授の太田修先生に、1965年に締結された日韓交渉の根本的問題に立ち戻りながら現在と未来を考えるための講演と、韓国側から、また、また日韓の正平協の連帯の歴史についての発題を材料に分かち合いをしたいと思っています。この分科会を契機に、輪郭を持ったネットワークが立ち上がっていくことを願っています。

開催会場：名古屋 熱田働く人の家（愛知県名古屋市熱田区伝馬 2-28-14）

開催時間：11月24日 10:00～16:00（受付は9時半より。10時5分前には必ず会場に）

主催団体：「東アジア和解と平和ネットワーク」

内 容：講演 太田修先生 「今日の朝鮮半島と日本—その歴史から考える」

（同志社大学グローバルスタディーズ研究科教授 主著『日韓交渉—請求権問題の研究』、『朝鮮近現代史を歩く—京都からソウルへ』他。）

発題① キム・ソンシル氏（韓国挺身隊問題対策評議共同代表）

「韓国カトリック教会が南北問題、歴史問題にどのように向き合っているか」

発題② Sr.古屋敷一葉（援助修道会、広島教区社会司牧デスク）

「日韓カトリックの正義と平和の連帯の歴史」

小グループでの分かち合い 全体討議

分科会への問い合わせ先：

中井 淳（分科会責任者、イエズス会司祭、下関労働教育センター所長）

E-mail：junagare@hotmail.co.jp

電 話：0832234585（労働教育センター）

申し込み：定員 50名。

韓国側から 15名の枠を考えています。日本側からは 35名となり次第締め切らせていただきます。

申し込みは中井の方へ

参加費：1000円

お弁当代と韓国の参加者たちの宿泊費に使わせていただきます。



地下鉄

名城線『伝馬町』下車 3番出口 徒歩 10分

名鉄『神宮前』徒歩 15分

市バス 内田橋北 バス停下車 徒歩 5分

○幹神宮 1

神宮東門～河合小橋行

神宮東門～多加良浦行

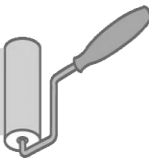
神宮東門～中川車庫行

○神宮 1 2 神宮東門～鳴尾車庫行き

○金山 1 9 神宮東門～泉楽通四行行き

神宮東門～潮見町南行き

○南巡回 神宮東門



「差別と向きあう ― ハンセン病をとおして」

会 場：カトリック布池教会 信者会館 小聖堂（名古屋市東区葵 1-12-23）

日 時：11 月 24 日（土）14：00～16：00

主 催：日本カトリック部落差別人権委員会

講 師：森元美代治さん（IDEA ジャパン理事長）

参加費：無 料

よびかけ・分科会の紹介

講師 森元美代治（もりもとみよじ）さん：

1952 年、14 歳の時にハンセン病と診断され、国立ハンセン病療養所 奄美和光園に入所。1962 年、社会復帰し慶応大学法学部入学。卒業後に金融機関に勤めたが、ハンセン病が再発し多磨全生園（東京都東村山市）に再入所。1996 年「らい予防法」廃止を契機に、日本で初めて夫妻が実名で体験を出版し語り始める。2004 年 NPO 法人 IDEA ジャパンを設立し理事長となる。

一貫してハンセン病患者の人権回復を訴え、国際的にも活動する。ハンセン病国家賠償訴訟の原告のまとめ役としても尽力し、現在多磨全生園を退所し、全国を飛び回り自らの体験を伝えている。

*お話の後に、森元美代治さんと会場の皆様との、質疑応答、対話の時間を持ちます。

会場地図



お申込み・お問合せ：お名前、ご連絡先を以下までお知らせください（当日参加可）

〒135-8585 東京都江東区潮見 2-10-10 日本カトリック会館

日本カトリック部落差別人権委員会

電話：03-5632-4482 FAX：03-5632-7920

E-mail：buraku@cbcj.catholic.jp

お申込みには、FAX または E メールをご利用ください。

LGBTと人権

～僕がゲイクリスチャンで良かったこと～

日 時 : 2018 年 11 月 24 日(土) 13:00～15:30

会 場 : 布池教会 文化センター 3F コンコルディアホール (エレベーターはありません)

講 師 : 平良愛香さん (日本基督教団牧師、デスク委員)

内 容 : LGBT 性的マイノリティーとの出会いと学びこそが、そこにある偏見・差別を
解消するための第一歩です。出会ってみませんか、学んでみませんか。

定 員 : 約 80 名

参加費 : 無 料

主 催 : カトリック中央協議会 HIV/AIDS デスク

問合せ : HIV/AIDS デスク

メール : hivaid@cbcj.catholic.jp

F A X : 03-5632-7920

会場地図



正義と平和全国集会名古屋大会分科会

教会の中の性虐待・性暴力を防止する ～私たち一人ひとりの問題として～

私たちは、性暴力を容認する社会に生きています
被害者を「見えない存在」にしているのは私たちです
そして、それは教会でも起こっています

被害者の声に対する私たち一人ひとりの責任（Responsibility 応答）として、
ともに考え、行動につなげましょう

〈講師〉 竹之下雅代さん

（株）ウィメンズカウンセリング京都所属

NPO 法人 日本フェミニストカウンセリング学会理事

11月24日（土）

10:00～12:00

布池教会 文化センター

3F コンコルディアホール

（エレベーターはありません）

参加費 無 料

申し込み 不 要

〈問い合わせ〉

カトリック中央協議会

子どもと女性の権利擁護のためのデスク

TEL 03-5632-4461

FAX 03-5632-7920

E-mail

social-concerns@cbcj.catholic.jp



特別シンポジウム

私が牢にいたときに訪ねてくれた

～死刑囚との交流から～

(マタイ 25:36)



日本には現在、何人の“死刑囚”がいるか知っていますか？
固く閉ざされた独房の中で、かれらは日々何を考え、どんな生活を送っているのでしょうか？
本分科会では、そうしたかれらと長年交流を続けているキリスト者の方々をお招きし、
死刑囚たちの“リアル”な人生について語り合いたいと思います。

2018年11月24日(土) 14時～16時

カトリック膳棚教会

〔名古屋市瑞穂区膳棚町 1-26〕

地下鉄桜通線「瑞穂運動場西」1番出口徒歩2分

シンポジスト

死刑囚と交流しているカトリック教会、
聖公会、プロテスタント教会の方数名(予定)

参加費無料・事前申込不要



主催：日本カトリック正義と平和協議会「死刑廃止を求める部会」

【お問合せ】E-mail: jccjp@cbcj.catholic.jp Tel: 03-5215-1844 Fax: 03-5215-1845 (やながわ)

共催：日本聖公会正義と平和委員会

第40回 日本カトリック正義と平和全国集会
2018 名古屋大会 分科会 カリタスジャパン

排除ZEROキャンペーン



Share the
Journey
#sharejourney

排除のない社会をめざして — 日韓の自死・自殺への取り組みから — 2018 年 11 月 24 日 (土) 10:00~12:00

カトリック布池教会 地下ホール

カリタスジャパン啓発部会では
2013 年よりカリタスソウルと協力し
自死・自殺に関するシンポジウムや勉強会を
毎年韓国と日本において 交互に開催して
きました。

今年度は 日本におけるシンポジウムの位置
づけとして 本分科会を開催する運びとなり
ました。

両国の自死・自殺に関する取り組みを通して
排除のない社会をめざすためにどうしたら
良いかを とともに考えていく機会としたいと
思います。ぜひご参加ください。

- * 日本語、韓国語 同時通訳有
- * 事前申込みにご協力ください

【スケジュール】

- 10:00~10:10 日韓の自死・自殺への取り組み
菊地 功 大司教
カリタスジャパン責任司教
- 10:10~11:00 発題 (3 名)
- 11:00~12:00 パネルトーク (発題者) &
フロアディスカッション

【発題者】

ジョン・ソンファンさん

韓国カトリック司教協議会 社会福祉委員会
担当司祭

ソン・エキョンさん

カリタスソウル OBOS 自殺防止センター長
シスター

佐々木 久長さん

秋田大学大学院 医学系研究科保健学 准教授



地下鉄東山線「新栄」「千種」・桜通線「車道」
駅下車徒歩 6 分/JR「千種」駅下車徒歩 7 分

通訳機器手配の関係上「事前申込み」
にご協力ください



【申込み・問い合わせ先】



(宗) カトリック中央協議会 カリタスジャパン

TEL: 03-5632-4439 E-mail: cjnsw@caritas.jp

FAX: 03-5632-4464 URL: <https://www.caritas.jp>

135-8585 江東区潮見 2-10-10 日本カトリック会館

第40回日本カトリック正義と平和全国集会 2018 名古屋大会 11月24日分科会

共催 難民移住移動者委員会／カリタスジャパン



排除 ZERO キャンペーン

国籍をこえて人びとが出会うために

総合司会 柳本 昭

(京都教区司祭/難民移住移動者委員会秘書)

13:00～14:30

基調講演：菊地 功 大司教 (東京教区/カリタスジャパン責任司教/カリタスアジア総裁)

「なぜ、排除 ZERO キャンペーン」

パネルディスカッション：名古屋教区在住の難民、移住者の皆さん

「排除のない日本社会をめざして」

ファシリテーター 山岸 素子 (難民移住移動者委員会委員)

難民・移住者をめぐる排除。あなたは、どのくらい感じていますか？
国内外の現状に耳を傾けて、まず知り、ともに考えましょう

14:30～16:00

「移住者にとって大切な典礼と祝祭」

①ブラジル ②ペルー ③フィリピン

移住者の出身国の教会独自の典礼と祝祭。あなたはどのくらい知っていますか？
移住者の皆さんが大切にしているお祝いを一緒に体験しましょう！

第8分科会で発題されるカリタスソウル関係者など、韓国カトリック教会の皆さんも来場予定



まとめのことは 松浦 悟郎 司教

(名古屋教区/難民移住移動者委員会委員長)

無料

直接会場へお越しください

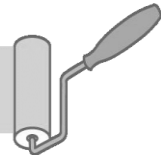
会場：カトリック布池教会 地下ホール

〒461-0004 名古屋市東区葵 1-12-23

(地下鉄桜通線 車道駅、地下鉄東山線 新栄駅・千種駅 いずれも徒歩 10 分)



お問合せ：日本カトリック難民移住移動者委員会 Tel 03-5632-4441 Email jcarm@cbcj.catholic.jp



第 40 回 日本カトリック正義と平和 2018 年名古屋大会

分科会

国策の道具として利用され虐げられてきた沖縄 琉球処分から普天間基地移設問題まで

講師：具志堅勝也さん

・NPO法人文化経済フォーラム理事長
元琉球朝日放送 報道制作局長

卒業式で歌われる「蛍の光」
4 番の歌詞をご存じですか

♪千島の奥も沖縄も
八州のうちのまもりなり
いたらん国にいさおしく
つとめよわがせ つつがなく

沖縄が担ってきた「つとめ」とはいったい何だったのでしょうか
具志堅さんによる各種資料を基にした講演と沖縄からの参加メンバーに
よるパネルディスカッションで明らかにしていきます



主催：日本カトリック正義と平和協議会

日時：2018 年 11 月 24 日

午後 1 時から 4 時

場所：カトリック一宮教会（一宮市大宮 1-7-1）

JR「尾張一宮」駅

名鉄「一宮」駅下車 徒歩 15 分

問い合わせ先：なかがわ 090-4943-7376

※事前のお申し込みは必要ありません

会場となる一宮教会への問い合わせはお控えください。

第40回日本カトリック正義と平和全国集会 2018 名古屋大会分科会

福音を生きるとは

～優生思想に対抗して～

講師 英 隆一郎 司祭

(日本カトリック障害者連絡協議会 協力司祭)

相模原の津久井やまゆり園の事件では、重度心身障害者は生きていく価値がないという理由で、多くの仲間が殺され傷を受けました。また重度心身障害ゆえに 17000 人もの人々が強制不妊手術を実施されたという事件が、ここ数年報道されています。これらの事件の背景にある優生思想に対峙するため、私たちの心の中心である“福音の生き方を見つめなおそう”をテーマに、英隆一郎司祭をお招きしての講演会、そして障害当事者と司祭を囲んでのシンポジウムを予定しております。

同敷地内にあります社会福祉法人 AJU 自立の家では、仲間(知的障害)が働くワイナリーで作られたワインの試飲コーナー、交流会の場などもご用意させていただいております。

日程：2018 年 11 月 24 日 (土)

会場：カトリック恵方町教会

(〒466-0037 名古屋市昭和区恵方町 2 丁目 1 5)

時間：10:00～15:30

定員：100 名 (手話通訳、要約筆記あり)

参加費：無料

※ 事前申し込みは不要です

※ 昼食 各自持参 (近くにコンビニがあります。お茶は会場で用意します)

講師：英 隆一郎 (はなふさ りゅういちろう) 司祭

カトリックイエズス会司祭、現在、東京・四ツ谷にある聖イグナチオ教会(東京教区・麹町教会)主任司祭。

専門は霊性神学(上智大学神学部非常勤講師)現代人がどのように神と出会い、魂の救いが得られるかに関心があり、今も救いを追い続けている。

主な著作：「祈りのはこぶね」(ドン・ボスコ社)、「道しるべ」(新世社)、「イエスに出会った女性たち」(女子パウロ会)など。

プロフィール

1960 年 神戸市生まれ

1985 年 イエズス会入会

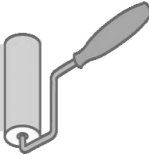
1993 年 司祭叙階 主に黙想指導、CLC、社会司牧の仕事をする



地下鉄 鶴舞線・桜通線「御器所」駅下車 4番出口より徒歩5分

主管：名古屋教区障害者連絡会 名古屋教区カリタス福祉委員会 (旧・名古屋教区社会福祉委員会)

問い合わせ：名古屋教区カリタス福祉委員会(村上) 電話：052-852-1426 FAX：052-841-2225



第40回日本カトリック正義と平和全国大会2018名古屋大会

第12分科会 受刑者の回復と社会復帰支援

～キリストの愛と赦し～

日 時	2018年11月24日(土) 13:00～15:30
会 場	カトリック東山教会(名古屋市千種区唐山町1-52)
内 容	講演会
講 師	五十嵐弘志(特定非営利活動法人マザーハウス 理事長) 井上紀幸
定 員	50～100名
参加費	無 料(受刑者の回復と社会復帰支援の活動のために自由献金にご協力下さい。)
問合先	080-3729-0067(五十嵐弘志まで)
講師紹介	五十嵐 弘志

1964年2月10日栃木県に生まれ。

前科3犯、受刑歴延べ約20年獄中でキリストと出会い、回心。「神の愛の宣教者会」の修道女との交流で、マザー・テレサを信仰の母とする。

受刑中に国際弁護士の佐々木満男先生が身元引受人となったことを契機に、司祭、修道女、牧師との交流を深め、文通、面会、本の差し入れなどを通してキリスト教を学ぶ。

出所後、森一弘司教から洗礼・堅信を授けていただき、祈りと真の愛の実践を目指して受刑者や出所者のケアを始める。

2014年5月にNPO法人マザーハウスを正式に立ち上げ

現在、全国の受刑者との文通プロジェクト、出所者の生活・就労サポート、大学などでの講演活動等を行う。

2014年、教皇フランシスコにお手紙を書き、返事をいただく。

2017年8月26日には、作田明賞優秀賞を受賞。

◆教会地図

地下鉄東山線『東山公園』下車 4番出口下車 徒歩10分



あなたは愛されるため、
愛するために生まれて来たのです。
あなたが必要であり、大切です。
マザーハウスはあなたの家族です。

第 40 回 日本カトリック正義と平和協議会 名古屋大会 第 13 分科会

<ワークショップ型 研修会>

憲法 9 条は、『戦争はしません。戦力は持ちません』と宣言しています。これは「もう二度と戦争を引き起こさない」という、先の戦争の反省の上に立つ、わたしたち日本国民の強い決意の表れであり、「人類の歴史的な到達点である」との評価さえ受けています。一方これに対して、国際社会の現状に対応するためには、憲法 9 条を変え、戦力として自衛隊を位置づけようとする動きもあります。

いったいわたしたちは、どのように考えたらよいのでしょうか。武力によらない平和づくりが本当に可能なのか、人間の尊厳やキリストの福音という視点から、この 9 条問題について掘り下げてみようと思います。憲法に基づいて自衛隊のイラク派兵に反対し、違憲判決を勝ち取った原告団長の池住さんや松浦司教とともに、私たちはどのように考え、どのように話し、どのように行動したらよいのか、みんなで考え、それぞれのやり方を見つけるためのワークショップ型の研修会です。



講師：

池住義憲 さん

(元・立教大学大学院特任教授
日本聖公会信徒、日進市在住)

松浦悟郎 司教

(ピース 9 の会呼びかけ人)



私を平和の道具としてください
……
憲法 9 条がめざすもの……

2018 年 11 月 24 日 (土)

開場 12:30 13:00 ~ 15:30

カトリック城北橋教会

〒462-0847 愛知県名古屋市北区金城 1 丁目 1-57

地下鉄 名城線

「名城公園」駅下車出口 1 から徒歩約 6 分

* 駐車スペースに限りがありますので、公共交通機関をご利用ください。



参加費無料・事前申し込み不要

- ・ピース 9 コーヒー
- ・ピース 9 グッズ
- ・9 マーク商品
- ・憲法関係の販売コーナーもあります。

主催：

ピース 9 の会 名古屋教区有志

お問い合わせ：担当 太田

Fax. 0561-85-1224 携帯 090-8546-9486

E-mail: chieko.ota.aichi818 @ i.softbank.jp

分科会 「つながりの貧困」



会場 カトリック多治見教会（多治見市緑ヶ丘38番地）



～教会へのアクセス～

- ① 多治見駅から徒歩30分程度
車 10分程度
- ② 多治見駅からコミュニティバスが利用できます
＜オリベ観光ルート（土日祝のみ運行）＞
- | 多治見駅南口発 | | 修道院 着 |
|---------|------|----------|
| 9:10 | ==== | 9:22 |
| 10:10 | ==== | 10:22 |
| 11:10 | ==== | 11:22 |
| 13:10 | ==== | 13:22 |
| 修道院 発 | | 多治見駅南口 着 |
| 13:49 | ==== | 14:00 |
| 15:19 | ==== | 15:30 |
| 17:04 | ==== | 17:15 |
- ③ 多治見駅よりボランティアの協力による
車での移動も予定しております。
詳しくは下記までお問合せください。

日 時 2018年11月24日(土)

午前の部 10:00～13:00 福ちゃん食堂
(先着10名までボランティア参加可能 参加費あり)
午後の部 13:30～15:30 講演会 参加費 無 料

主催団体 やこ&もこの家(福ちゃん食堂：ボランティアグループ)
内 容 この時代の子どもと親の孤立・つながることの困難さや誰に相談したらいい
のかと悩んでいる中で居場所があることの大切さを知っていただきたいと
思っています。

講師 莊保共子さん



プロフィール

兵庫県宝塚市で育つ。聖心女子大学卒業後、教会の青年活動の中で釜ヶ崎の子どもたちと出会う。1977年、学童保育「こどもの広場」を開設、1980年、西成警察南横に移設し「こどもの里」と改称。子どもの遊び場と相談・生活の場を軸に、大阪市留守家庭児童対策事業、大阪市地域子育て支援拠点事業、小規模住居型児童養育事業「こどもの里ファミリーホーム」、児童自立生活援助事業「こどもの里自立援助ホーム」、生活・子育て相談・緊急一時保護・宿泊事業、エンパワメント事業、虐待防止・貧困対策等の自主事業に取り組む。1986年度より毎年1月～3月の毎土曜日、野宿者を訪問する「こども夜まわり」を開催。釜ヶ崎の子どもの人権擁護に9名の専従スタッフとボランティアと共に取り組み現在に至る。西成区要保護児童対策地域協議会今宮中学校区座長。わが町にしなり子育てネット代表。里親。子どもの権利条約関西ネットワーク共同代表。一般社団法人「ホームレス問題の授業づくり全国ネット」理事。一般社団法人日本ファミリーホーム協議会近畿ブロック代表。2015年度より「特定非営利活動法人 こどもの里」理事長。

問合せ先 070-2211-8944 (やこ&もこの家)

カトリック多治見教会 tajimich@samba.ocn.ne.jp

正義と平和全国集会 2018 名古屋大会 分科会

1. 分科会名 リニア中央新幹線を問う ～それでもあなたは乗りますか～
2. 現地会場 リニア新幹線走行ルート予定現場
バス出発時間 8時30分～16時
3. 集合場所 布池教会 正面
4. 主催団体 名古屋教区正義と平和委員会
5. 内 容

～何故、今、リニア問題か～

敦賀の太田和子さんは 2004 年から亡くなるまで、毎日、日本原電敦賀事務所の前で一人抗議活動を続けました。それは、原発の犠牲になった全ての生物の代弁者になることを決意したからでした。ここに、ガリラヤの人々と共にいたイエスの姿を思い浮かべます。

我が国は明治以来、物質的繁栄と同時に、甚大なる人的被害、環境破壊、地方の疲弊・切り捨てをもたらしました。2011 年のフクシマ原発事故はその「犠牲のシステム」に成り立った日本の構造悪を如実に表しました。

今また、経済効果の喧伝のもとリニア中央新幹線（以下、リニアと略）工事が多くの問題を指摘されながら見切り発車されました。しかし、根本的問題は周縁の人間と環境を犠牲にしてまでも一握りの層の経済的利益を確保するのかです。「それでもリニアに乗りますか」の問いかけにキリスト者はどう応えられるかです。

現場研修コース予定

- ① 「瑞浪超深地層研究所」 現地案内人：早川彰子氏（No nukes とエコ・東農代表）
- ② 「南垣外リニア非常口工事現場」
- ③ 「久々利・豊蔵記念館前汚染水放流現場、リニア地上走行予定地」 現地案内人：梅田氏
- ④ 「入鹿池、採石場美濃帯露頭」
- ⑤ 「坂下非常口工事現場、亜炭鉱跡」 現地案内人：川本氏（春日井リニアを問う会）

※交通など諸事情により変更になることがありますので、ご了承ください。

6. 分科会の形式 現地学習会
7. 講 師 大沼 淳一氏（原子力市民委員会委員）
8. お申し込み・お問い合わせ Fax 052-935-7195 (Fr. 竹谷)
9. 費 用 自由献金あり。昼食はこちらで用意します（実費負担お願いします）
なお、レクリエーション保険に加入します。

締め切り 2018年9月30日（日） 定員 28名（先着順）

※郵便番号・住所・氏名・所属・連絡先をお知らせください。

参加申込書（先着順）

住 所	〒		
氏 名		所 属	
TEL・FAX			

第 40 回日本カトリック正義と平和全国集会 2018 名古屋大会分科会

美しい若狭を守ろう～世界一の原発密集地域から

会場 カトリック緑ヶ丘教会
(緑区ほら貝 1-238-1)

日時 2018 年 11 月 24 日(土)

10:00～ DVD 視聴 《昼食》※

13:00～ 講演 15:30 散会

講師 中嶋哲演師：福井県小浜市明通寺住職、
平和運動家、反原発活動家概要 「原発銀座の悲惨と向き合いつつ、美しい
若狭を守る運動に取り組む」福井県の西の
地域に位置する若狭には、岬という岬に、
巨大な原子力発電所が 15 基びっしりと並ん
でいます。

この密集の度合いは日本はもちろん世界中のどこにもありません。もしここで、一旦、福島原発の様な大事故が起されれば、地元はもとより、京阪神、東海北陸、山陰山陽の大部分が壊滅します。また、琵琶湖が汚染されれば、京阪神の人たちは一滴の水も飲めなくなります。この危険極まりない原発を拒否し続けて 50 年にわたって闘ってきた一人の宗教者のお話を聞いて、私たちの教訓に、また活動の糧にしたいと思います。



若狭湾の原発

参加費 無料 (自由献金はお受けします。)

※昼食 各自持参 (相生山駅近くにコンビニ 2 店あります。お茶は会場で用意します。)

会場へ
のご案内

- ☆市営地下鉄桜通線「相生山」下車 2 番出口より徒歩 5 分
- ☆市バス 地下鉄鳴子北駅より鳴子 16 系統「鳴子みどりヶ丘」下車徒歩 7 分
- ☆名鉄バス 名鉄鳴海駅より「鳴子みどりヶ丘」下車徒歩 7 分

布池教会 ⇒ 徒歩 7 分 ⇒ 地下鉄桜通線「車道」⇒ 23 分(300 円) ⇒ 「相生山」下車

主催 次世代を考える会

問合せ先：齋藤 茜 携帯 090-8075-7382

第40回 「正義と平和」全国集会 名古屋大会

テーマ：共に生きる地球家族

～今問われるわたしたちの選び、私の決意～

11月23日（金・祝）

時 間	プログラム
12:00	大会受付
13:00	開会式（布池教会・大聖堂）
13:30	基調講演（布池教会・大聖堂） 講師 羽後 静子教授（中部大学）
14:20	シンポジウム（布池教会・大聖堂） 講師 ヨゼフ アペイヤ補佐司教（大阪大司教区） 講師 弘田 鎮枝修女（ベリス・メルセス宣教修女会）
16:00	シンポジストによるパネルディスカッション 司会 松浦 悟郎司教（名古屋教区）
18:00	懇親会（布池教会・聖ヨゼフ館）

11月24日（土）

時 間	プログラム
10:00	分科会 第1～16の分科会があります 詳細はP4～P19参照ください
16:00	
	分科会会場からメイン会場（布池教会）への移動
17:00	まとめ（布池教会・大聖堂） 派遣ミサ 閉会式
18:30	終了

◆11月24日 分科会タイムスケジュール（どうぞ時間の都合に合わせて、複数の分科会にご参加ください）

時 間	分科会	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯
10:00																8:30～	
11:00																現地学習	
12:00																（申込制）	
13:00																	
14:00																	
15:00																	
16:00																	

メイン会場のご案内 カトリック布池教会 <〒461-0004 名古屋市東区葵1丁目12-23>



交通アクセス

- ・JR中央線 千種駅
- ・名古屋市営地下鉄 東山線 新栄町駅 または 千種駅
- ・名古屋市営地下鉄 桜通線 車道駅

いずれも徒歩10分

※駐車場はありませんので、公共交通機関をご利用ください。